

## 令和三年第三回定例会 提案理由説明書（九月十四日追加提案）

ただ今追加提案しました第百二号議案 令和三年度大分県一般会計補正予算（第十号）について説明申し上げます。

本議案は、新型コロナウイルス感染症対策に関するものですが、まずもって県民の皆様には対策に御理解・御協力をいただき、心より感謝を申し上げます。また、医療従事者や病院スタッフの皆様には、昼夜を分かたぬ献身的な対応をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

おかげさまで県内は、明らかに改善の兆しが見えてきました。新規感染者数は過去最多の二百十五名を記録した八月二十一日を境に、安定的に減少傾向が続いています。感染経路不明者も徐々に減少し、その割合は三十%台まで低下しています。また、ワクチン接種も今月下旬には、全県民の七割が少なくとも一回目の接種を終える見通しとなりました。

しかしながら、デルタ株の感染力は驚異的であり、予断を許しません。一時心配された病床使用率は、四十%を切るところまで下がってきましたが、依然、高い水準にあります。今回の感染拡大を抑え切るかどうか、今が大変大事な時であり、もうしばらくの警戒が必要です。

そのため県民の皆様には、マスク着用や「密」の回避、こまめな換気といった基本的な感染防止策に加え、不要不急の外出自粛など、これまでの行動抑制を今月二十六日まで継続していただくよう、お願いしているところです。

また先月二十日から、飲食店等に対し、営業時間の短縮を要請していますが、こちらのほうも今月十二日としていた要請期限を同二十六日まで、二週間延長させていただきました。今回の補正予算は、この延長に伴う時短要請協力金の所要額を措置するものです。補正額は二十三億円であり、財源は国庫支出金十八億四千六百万円、おおいた元気創出基金繰入金四億五千四百万円です。なお、今回延長した時短要請等の影響を受ける、酒類販売事業者や交通事業者などに対しては、既に予算措置をしている県独自の事業継続支援金で幅広く応援します。

県民の皆様には、長きにわたり御不便等をおかけしていますが、今しばらくの御協力を賜りながら、病床使用率等の改善を確かなものとし、ワクチン接種の加速と併せ、一日も早い感染収束に繋げてまいります。

何とぞ、慎重御審議のうえ、御賛同いただきますようお願い申し上げます。